筑紫地区建設コンサルタンツ協会各位

東北震災被害視察報告

平成27年9月10～12日までの3日間、正会員13名、以下の日程で東北震災被害視察に行ってまいりました。

平成27年9月10日　女川町震災被害状況視察

・女川町で被災された語り部による被災状況の話と復興状況の説明を受ける。

・女川町へ見舞金の贈呈（女川町会計課　阿部出納係長）

・復興商店街（希望の鐘商店街）・石巻市大川小学校を視察

平成27年９月11日　南三陸町震災被害状況視察

・南三陸町へ見舞金は振込（見舞金の受付は振込のみとされている為。）

・被災の語り部による被災状況の話と復興状況の説明を受ける。

・南三陸町防災対策庁舎（「悲劇の防災庁舎」と呼ばれている。お亡くなりになった女性職員（遠藤未希さん）は、「津波が来ます。高台へ逃げて下さい」と44回アナウンスされたそうです。その後、マイクを引き継がれ、避難を18回喚呼された上司の三浦課長補佐の亡骸は、現在も見つかっていないとのことです。）

防災庁舎並びに跡地は今後１６年間の保存が決まっています。

奇しくもこの日は、東北震災発生（平成23年3月11日）から4年6ケ月が経過した日でした。

毎月１１日には警察、消防、自衛隊等では、行方不明者（自分たちの仲間を含めて）の

捜索が現在も行われているそうです。

東日本大震災の犠牲となったすべての方々のご冥福を心よりお祈り申しあげます。

被災状況については、記録映像を４市1町分（５枚）の用意致しましたので、回覧でご覧いただければと思います。自然の力の前では、人間の力がいかに無力かを思い知らされる映像です。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成27年９月14日　記

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　担当　広報委員会